

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C	令和6年1月11日	
横断的な課題	八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり						
地域重点政策	八ヶ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり					諏訪地域振興局	
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	縄文トレイルサイクリングコース開発事業				電話	0266-57-2901(内線2317)	
				E-mail	suwachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	平成30年に日本遺産に認定された「星降る中部高地の縄文世界」事業のPR体制強化を図る。					
	現状と課題	日本遺産の認知度向上のため、縄文文化に関心の薄い層にPRを行っていく必要がある。諏訪地域には多くのサイクリストが訪れていることから、サイクリングを切り口に縄文文化に触れる機会を作る仕組みを検討し、令和4年度は諏訪湖周辺を舞台として、縄文に縁のあるスポットをつないだ初心者向けのサイクリングコースを作成した。また、小学生向けにイベントを実施し、17名(親も含む)に参加いただいた。実施後のアンケート結果で、縄文文化への関心が高まったという声があり、サイクリングを組み合わせた日本遺産及び縄文文化のPRに一定の効果があつたことから、今年度は八ヶ岳エリアを対象に中級者向けのコース制作を行う。					
	内容 (変更後の内容)	<p>サイクリングを好む一方、縄文への関心が薄い層に博物館等を訪問してもらうことを目的に、縄文をテーマとしたサイクリングコースをモデル的に開発する。開発したコースは日本遺産HP等に掲載する。</p> <p>【内容詳細】</p> <p>1 サイクリングコース開発(八ヶ岳エリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部アドバイザーから助言を頂きながら、縄文スポットを結び付けたコースを開発する。(7~8月)</li> <li>コース試走会(令和5年9月29日)</li> </ul> <p>開発したサイクリングコースの試走会を実施する。試走後、必要に応じてコースの見直しを行い、コースを完成させる。</p> <p>2 イベントの開催(令和5年11月5日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般参加を募集し、サイクルイベントを開催する。</li> </ul>					
事業期間	令和5年7月			～	令和6年1月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	縄文トレイルサイクリングコース開発事業	コース開発及び試走会におけるアドバイザー謝金	111,600	アドバイザー2名分、イベント協力者4名分(試走会、イベント、打合せ含む)			
		アドバイザー旅費	11,058	試走会:2名分、イベント:3名分			
		チラシ代、景品代、ペットボトル飲料代	73,635	チラシ代@71.5×1,000枚、景品代(イベント用)1,500円、飲料(イベント参加者用)635円			
		レクリエーション保険代、郵送代	9,976	保険代:2,829円×2回分 郵送代:@250×7、@390×4、@84×12			
		動画作成委託	16,500	委託			
	自転車賃借料、施設入館料	88,700	自転車:6,000円×14(試走会、イベント) 入館料:@500×9、@200×1				
合計		311,469					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	コース開発数		1コース	1コース	● 達成		
	イベント参加者数		5名	10名	○ 一部達成		
	コース満足度調査 評価点数		平均3.5点 (5点満点)	4.8点	○ 未達成		
事業実績・成果	八ヶ岳西麓エリアの縄文文化に縁のあるスポットをつないだサイクリングコースを作成し、11月に一般参加を対象としたサイクリングイベントを実施した。目標の5名を上回り県内外から10名が参加し、開催後の参加者アンケートによる満足度調査(5段階評価で5点が最高)で、平均点が4.8点と、大変好評だった。また、八ヶ岳西麓エリアが日本遺産の認定地域であるという認知度の向上や、サイクリングを切り口として縄文文化に興味を持ってもらう仕組みを作ることを事業目的及び内容に掲げている中で、今回のイベントをきっかけに「この地域が日本遺産の認定地域であることを初めて知った」、「縄文文化に興味・関心が高まった」という感想が多数寄せられたことから、一定の成果をあげることができた。						
今後の方向性	来年度は上級者向けに、管外も含め日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」認定地域を広域的に巡るサイクリングコースの制作を検討していく。						